許 庁

67 J 1 (128 K 322)

実 用 新 案 公 報

72:1- 11.

実用新秦出顧公告 昭 40-701 公告 昭 40.1.11 (全2頁)

導電性シート

86 - 7185実 頤 823

昭 86.2.15 出頭 日

考 案 者 石京晃一

京都市左京区北白川山の元町16

第一レース株式会社 顧人 Ш

大阪市東区南本町4の20

代 表 者 石束晃一

弁理士 島田堅三 代 理 人

図面の簡単な説明

第1図は本考案導電性シートの一実施例の平面 図、第2図は第1図A.A根に沿う断面図である 考案の詳細な説明

本考案は電気発熱体として使用する導電性シー トに関するもので、絶縁性フイルム、紙、布帛等 の基材の表面に導電性樹脂よりなる皮膜を設け、 との皮膜の表面には多数の互に平行した溝を形成 してなるものである。しかしその目的とする所は 全面にわたり均一に発熱する導電性シートを提供 せんとするにある。

以下図面を参照して本考案導電性シートをその 一実施例につき説明すると、1は絶縁性のフイル ム、紙、布帛等よりなる基材、2はこの基材の表 面に塗布した例えば黒鉛、金属粉を混入した合成 樹脂またはそれ自身導電性を有する合成樹脂より なる導電性皮膜で、この皮膜の表面には多数の互 に平行する構3を形成するものである。しかして 上配導電性皮膜2の両端にはその幅全体にわたつ て導電性端子板4.4′を接続するものである。

従来のこの種導電性シートは絶縁性基布の表面全 体にわたり均一厚さの導電性樹脂皮膜を接着した にすぎないものが最も普通であるが。このような ものはこの導電性皮膜の抵抗値が部分的に相違す ることは斥けることができないのでこれに電流を 通ずると、この導電性皮膜の発熱が部分的に相違 しその全面に均一なる発熱を生ぜしめることはで きない。

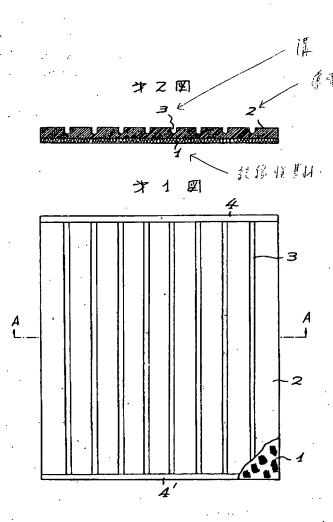
しかるに本考案の導電性シートはその導電性皮 膜の表面に互に平行する多数の構が形成されてい るのでこの導電性皮膜に部分的に多少の抵抗値の 不均一な部分があつてもとの構化平行する方向に おける導電性皮膜の抵抗はほとんど均一となり従 つてこの導電性皮膜に電流を通じた場合その全面 にわたりほとんど均一な発熱を生せしめることが でき、しかも導電性皮膜の表面に凹凸があるので その放熱面積も大となりかつ構造上非常に柔軟で ある。

本考案導電性シートはこれを適当なケースの中 **に捲込んで挿入するかまたはこのケースの内側に** 張りつけて電気コタツ、電気足温器等の暖房影等 に使用することができ、また電気毛布、電気座布 団、保温衣料、椅子を張る保温布帛等にも使用で きさらに特別な例としてはこの導電性シートをテ ープ状として寒冷地における液体輸送管に巻きつ けてとれて通電し液体の凍結を防ぐような目的に も使用できる。

実用新案登録請求の範囲

絶縁性基材しの表面に導電性樹脂の皮膜2を設 け、との皮膜の表面には多数の互に平行した構 3 を形成してなる導電性シート。

BEST AVAILABLE COPY



F 669